
平成23年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成23年3月4日

質問者（質問順）

- 1 太田正孝委員（無所ク）
- 2 白井正子委員（共産党）
- 3 田中紳一委員（ヨコ会）
- 4 渋谷健委員（自民党）
- 5 斉藤達也委員（自民党）
- 6 飯田助尚委員（民主党）
- 7 土志田三津夫委員（民主党）
- 8 牧嶋秀昭委員（公明党）
- 9 今野典人委員（民主ク）
- 10 杉山典子委員（ネット）

都市経営局

局 別 審 査

1 太 田 正 孝 委 員 (無 所 欠)

1 Y150について

- (1) 平成23年度の取組と最終的な始末の方向について伺いたい。
 - (2) 和解の方向について伺いたい。
 - (3) 訴訟は、市が負担する方向になるのか伺いたい。
 - (4) 運営にあたった横浜開港150周年協会の構成員に負担を求めていくのが望ましいと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 運営する団体には、万が一のときには責任を取るという覚悟のある人が会長や副会長に就くべきであり、このことを当局や市長が考えていかなければならない。

2 政策立案に関する調査費について

- (1) 全市における平成23年度予算額について伺いたい。
 - (2) 調査の果実をいつでも引き出せるバンクのようなシステムを作る必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 調査結果を集約する部屋のようなものを設け、シンクタンクを自ら作っていくよう要望します。

3 市大への10億円の貸付について

- (1) 10億円を貸し付けるに至った経緯について伺いたい。
 - (2) 市が交付したお金で返済させるのはよくない。そのことを10億円の貸付として、経理上処理するというのは望ましくない。
 - (3) 5億円が貸付で5億円が贈与であると考え、見解を伺いたい。
- (意見) 5億円は貸付金ではなく補助金でよかったのではないか。独立行政法人の立法の精神、なぜ市立大学が独立行政法人になったのかという精神から考えると今のやり方は脱法行為である。そういうことは望ましくない。

局 別 審 査

2 白 井 正 子 委 員 (共 産 党)

1 横浜市立大学の運営について

(1) 運営交付金について

ア 運営交付金（大学部門）の5%削減は、大学の教育研究条件の劣化をもたらす。これは学校設置者として本市の責任放棄ではないのか。

イ 研究推進事業費の事業の内容と第1期中の計上額推移と減額理由について伺いたい。

ウ 教養学や国際科への研究員の配分が薄れた。復元して、その分野での研究促進をはかる必要があるが、見解を伺いたい。

(2) 自己収入について

ア 受託研究収入や研究補助金など自己収入を大幅に増やす見込みとしているが、過度な競争によって大学教員が資金獲得のための作業に忙殺される。本業がおろそかにならないようにするための防止策について伺いたい。

イ 民間からの受託研究は成果が民間企業に専有される。私企業に利用されることは問題であり、どのようにチェックしているのか伺いたい。

ウ 企業を選ぶにあたり、チェック体制があるのか伺いたい。

(3) 授業料減免について

ア 授業料減免制度の基準について伺いたい。

イ 過去3年間の授業料減免該当者の実態について伺いたい。

ウ 国は運営交付金の中に授業料減免分を措置しているが、本市で運営交付金の中で措置しているのか伺いたい。

エ 法人にだけ減免を委ねるのはよくない。法人の努力には財政的に限界があり、本市が責任をもって、減免分を運営交付金で措置すべきと考えるが見解を伺いたい。

(4) 奨学金について

ア 奨学金について、貸付や給付などの実態について伺いたい。

イ 貸付については、大学独自の奨学金があるが、無利子なのか有利子なのか伺いたい。

ウ 奨学金制度を無利子に切り替えれば、国の制度で基準を満たしていても、募集枠に入れなかった市大生が救済される。制度を見直すべきと考えるが見解を伺いたい。

エ 本市が予算措置し、給付制を拡充すべきと考えるが見解を伺いたい。

(要望) 学ぶ意欲のある学生のために、市大運営交付金を増やすべきであり、本市の支援を厚くすることを要望します。

局 別 審 査

3 田 中 紳 一 委 員 (ヨコ会)

1 横浜市中期4か年計画の着実な推進について

- (1) 中期4か年計画において、四半期管理を導入するねらいについて伺いたい。
- (2) 行政と民間企業はその性質が異なるため、すべての事業について、四半期管理を導入する必要はないと考えるが見解を伺いたい。
- (3) 未来のヨコハマ検討調査の目的について伺いたい。
- (4) 組織の縦割りを打破した施策推進の方策について伺いたい。

2 大都市制度について

- (1) 現在の国の検討状況について伺いたい。
- (2) 実現に向けた他都市との連携についての考えについて伺いたい。
- (3) 大都市制度創設に関する神奈川県との関係について伺いたい。
- (4) 県から独立した場合に新たに増える業務について伺いたい。
- (5) 大都市制度を目指す上では、横浜独自の経済圏を確立して自立した財政基盤を作るためにも、東京との差異化に着目した成長戦略の展開が必要と考えるが見解を伺いたい。

局 別 審 査

4 澁 谷 健 委 員 (自 民 党)

1 総合特区制度について

- (1) 総合特区制度の概要について伺いたい。
- (2) 本市における現在の取組状況について伺いたい。
- (3) 今後の総合特区指定に向けた取組姿勢について伺いたい。

2 横浜市立大学先端医科学研究センターの整備について

- (1) 先端医科学研究センターの新研究棟の整備内容について伺いたい。
- (2) 文部科学省の大型補助金の内容について伺いたい。
- (3) 市大が文部科学省の大型補助金を使って行っている研究内容について伺いたい。
- (4) 先端医科学研究センターのこれまでの研究成果について伺いたい。
- (5) 先端医科学研究センターに対する本市としての期待について伺いたい。

3 M I C E 誘 致 について

- (1) A P E C 横 浜 開 催 が 本 市 に も た ら し た 成 果 に つ い て 伺 い た い 。
- (2) 今後、経済波及効果の事前の推計を行う際に精度を上げる方法について伺いたい。
- (3) A P E C 横 浜 開 催 に お い て 、 今 後 の コ ン ベ ン シ ョ ン 誘 致 に 向 け ア ピ ー ル し た 点 に つ い て 伺 い た い 。
- (4) A P E C の 実 績 を 踏 ま え た 今 後 の 大 型 国 際 コ ン ベ ン シ ョ ン 誘 致 へ の 取 組 に つ い て 伺 い た い 。

4 根岸住宅地区返還後のまちづくりについて

- (1) 現在の根岸住宅地区のまちづくりの検討状況について伺いたい。
- (2) 根岸まちづくり会での具体的な勉強内容及び組織化の状況について伺いたい。

- (3)勉強会でわかってきた根岸住宅地区返還にあたっての課題について伺いたい。
- (4) 課題解決のための取組についての本市の考えについて伺いたい。
- (5)まちづくり協議会設立の目標時期とそのための本市の取組について伺いたい。

5 大都市制度と地方分権について

- (1) 本市に関わる国の出先機関の主なものと国における出先機関改革の検討状況について伺いたい。
 - (2) 国における出先機関改革の今後のスケジュールについて伺いたい。
 - (3) 国の出先機関改革が進まない理由について伺いたい。
 - (4) 国の出先機関改革が進まない理由について所感を伺いたい。
 - (5) 国の出先機関改革に対する本市の考え方について伺いたい。
 - (6) 本市における「地方分権」と「地域主権」の用語の使い分けについて伺いたい。
- (要望) 国会においても、横浜市と同じように地域主権という意味をしっかりと定義付けできていないのが現状です。今後とも本市においては、定義付けがはっきりしない言葉を使用せず、しっかりと地方分権を目指していただくことを要望します。

局 別 審 査

5 齊 藤 達 也 委 員 (自 民 党)

1 様々な担い手との対話による新しい公共づくりについて

- (1) 古い公共とはどのようなものか伺いたい。
 - (2) 新しい公共とはどのようなものか伺いたい。
 - (3) これまでの共創フロントでの取組の中で、自治会町内会との連携事例として、どのようなものがあるのか伺いたい。
 - (4) 自治会町内会との連携づくりについて、今後どのような工夫をしていくのか伺いたい。
- (要望) 本市に非常に貢献のある自治会町内会等を含め、どのように応援していくのか検討していただくことを要望します。

2 指定管理者制度運用事業について

- (1) 2期目の指定管理者の指定にあたって、選定方法についてどのような点で工夫したのか伺いたい。
 - (2) 今回の選定にあたり、実績評価はどの程度活用されたのか伺いたい。
 - (3) 実績評価に関する課題について、今後どう対応するのか伺いたい。
- (要望) 指定管理者は、一番身近な市民との窓口になるので、選定されなかったところも納得がいくよう、さらに優れた仕組みとなるように要望します。

3 創造界限形成事業について

- (1) 旧老松会館を演劇の稽古場などとして活用することになった経緯について伺いたい。
- (2) 運営団体をどのように選んだのか、また、応募は何団体あったのか伺いたい。
- (3) 急な坂スタジオのこれまでの実績と評価について伺いたい。
- (4) 急な坂スタジオをNPO法人に対し、普通財産の無償貸付としている理由について伺いたい。

(5) 今後の急な坂スタジオの運営について伺いたい。

4 創造都市市民力継承事業について

(1) 開港150周年記念事業における市民活動の評価について伺いたい。

(2) マザーポートエリア活性化推進事業の実施概要について伺いたい。

(3) INVITATION to OPEN YOKOHAMA 2010の実施結果の評価について伺いたい。

(4) 評価結果を踏まえた INVITATION to OPEN YOKOHAMA の平成23年度の取組について伺いたい。

5 都心部活性化検討調査について

(1) 平成22年度の都心部活性化検討調査の検討内容について伺いたい。

(2) カジノについては、神奈川県等、誘致に向けて積極的な発言をしている自治体が多いなか、本市は出遅れた感があるが、今後の取組について伺いたい。

(3) 平成23年度の取組について伺いたい。

6 公共施設保全利活用について

(1) 公共施設政策課における3年間の取組について伺いたい。

(2) 財政局へ業務移管するねらいについて伺いたい。

(3) 平成23年度の取組について伺いたい。

(4) 施設の整備を計画する際には、新たに提供されるサービスについてのみでなく、新設することで増える保全費などの将来負担も併せて市民に伝え、長期的な視点を持って議論していくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。

7 広域行政について

(1) 近隣市町村との連携・交流の取組状況について伺いたい。

(2) 絹の道都市間交流連携会の設立のねらいとこれまでの取組及び今後の展開について伺いたい。

(3) 絹の道都市間交流連携会をはじめ、今後本市から積極的に近隣市町村との連

携・交流を働きかけていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

- (4) 大都市制度についての提案、観光・創造都市としての取組、広域行政の一層の充実など、本市の先駆的な取組を開港150周年から200周年に向けて新たな段階へと発展させるべきと考えるが、今後、他都市に率先して取り組んでいく決意について伺いたい。

局 別 審 査

6 飯 田 助 尚 委 員 (民 主 党)

1 横浜の都市づくり戦略について

- (1) 六大事業の評価について伺いたい。
- (2) 現代版の六大事業的戦略に該当するものは何か伺いたい。
- (3) 新幹線のぞみの新横浜駅全車停車や東名横浜青葉 I C の整備に対する評価について伺いたい。
- (4) リニア中央新幹線を見据えた街づくりについての考えについて伺いたい。

2 大都市制度について

- (1) 大都市の課題について伺いたい。
- (2) 現行の指定都市制度の問題点について伺いたい。
- (3) 本市が提案している新たな大都市制度のメリットについて伺いたい。
- (4) 新たな大都市制度の創設に向けた国への働きかけについて伺いたい。

3 共創フロントについて

- (1) 共創の概念について伺いたい。
 - (2) 実現案件の分野別・主体別の特徴について伺いたい。
 - (3) 提案案件を実現するポイントについて伺いたい。
 - (4) 実現件数を増やしていくためには、プロセス管理の仕組みを確立していき、市内に広く浸透させるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 実現できた案件には、市民生活にとっていい取組も見られますから、市会にも適宜報告するなど、市民の理解を得ながら実施していただくよう要望します。

4 自治体の国際交流・国際協力について

- (1) 国際交流・協力推進費の予算削減による影響について伺いたい。

- (2) 平成23年度に取り組む事業について伺いたい。
- (3) 本市海外事務所の設置意義及び活用状況について伺いたい。
- (4) 全庁的な国際施策の進め方について伺いたい。

局 別 審 査

7 土志田 三津夫 委員（民主党）

1 文化観光局における創造都市のあり方について

- (1) クリエイティブシティ・ヨコハマの実績と成果について伺いたい。
- (2) 横浜におけるクリエイティブシティの課題について伺いたい。
- (3) 文化観光局の発足をふまえた創造都市の展開について伺いたい。

2 横浜トリエンナーレについて

- (1) 横浜トリエンナーレ2011の準備状況について伺いたい。
- (2) 主導的な役割を担うことによる横浜トリエンナーレの特色について伺いたい。
- (3) 横浜トリエンナーレ2011の広報・PRにどのように取り組むのか伺いたい。
- (4) 継続開催に向けたノウハウの蓄積をどのようにするのか伺いたい。

3 アフリカン・フェスタの取組について

- (1) 開催の目的について伺いたい。
- (2) これまでの開催概要について伺いたい。
- (3) 今後の開催予定について伺いたい。

4 指定管理者制度について

- (1) 選定方法に関する課題への今後の対応について伺いたい。
 - (2) 選定時の提案内容についての実効性の担保について伺いたい。
 - (3) 専門性の高い施設などについて、今後どのように対応していくのか伺いたい。
- (要望) 専門性の高い施設というのは、それぞれの政策分野において重要な拠点となるわけですから、それぞれの施設の特性を踏まえ、適切な運営手法を慎重に検討されるよう要望します。

局 別 審 査

8 牧 嶋 秀 昭 委 員 (公 明 党)

1 大都市制度について

- (1) 「大阪都構想」、「中京都構想」、「新潟州構想」についての認識について伺いたい。
- (2) 「大阪都構想」、「中京都構想」について、市長は市民の視点からも十分検討すべきと指摘しているが、どのようなことを指しているのか伺いたい。
- (3) 大都市が抱える課題を解決する制度提案と市長は言っていたが、横浜都構想というのは、どのようなもので、どこまで議論が進んでいるのか伺いたい。
- (4) 「大阪都構想」、「新潟州構想」と本市が主張している新たな大都市制度の違いについて伺いたい。
- (5) 都市州制度と本市の目指している新たな大都市制度の方向性の違いについて伺いたい。
- (6) 新たな大都市制度の実現に向けた川崎市との連携の考えと今後の取組について伺いたい。
- (7) 市民の視点に立った新たな大都市制度の創設に向けた決意について伺いたい。

2 市大の魅力向上に向けた取組について

- (1) 横浜サイエンスフロンティアにおける市大の取組
 - ア 理研との連携大学院について、当初想定していた目標とこれまでの取組の評価及び今後の展開について伺いたい。
 - イ 市大とサイエンスフロンティア高校との具体的な連携について伺いたい。
 - ウ サイエンスフロンティア高校の特別入学枠の目的と来年度予定している具体的な選抜方法について伺いたい。
 - エ サイエンスフロンティア高校からの受験生を含め、市大医学部医学科に特別入学枠を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 市大附属 2 病院の看護師確保策について

ア 看護学科生への取組と平成22年度卒業生の附属2病院への就職率の見込みについて伺いたい。

イ アンケートで附属2病院に就職しなかった理由と看護学科及び病院におけるその検証と対応について伺いたい。

ウ 看護学科生が附属2病院に就職するための魅力づくりの取組について伺いたい。

3 指定管理者の収支状況について

(1) 地区センター全体の収支状況について、余剰が生じている黒字の施設、マイナスとなっている赤字の施設、プラス・マイナス0となっている施設はそれぞれの程度あるのか伺いたい。

(2) プラス・マイナスが0となっている施設は、どのような法人が多いのか伺いたい。

(3) 指定管理施設での収支差額の計上状況や記載方法について、統一的な基準を作り、徹底すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 収支状況がプラスであったときは、地域に還元すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 花月園の跡地活用におけるまちづくりについて

(1) 跡地利用の検討は、県有地や隣接する社宅用地に限定せず、花月園前駅周辺も含めた広域的な視点をもって進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 区民・市民の意見募集を含めた今後の事業化検討の体制をどのように考えているのか伺いたい。

(3) 花月園の開設経緯について伺いたい。

5 人口減少・超高齢社会を迎える横浜の将来ビジョンについて

(1) 超高齢社会の定義について伺いたい。

(2) 本市は何年後に超高齢社会に突入すると推計されているのか伺いたい。

(3) 人口減少・超高齢社会における地域社会の考え方について伺いたい。

- (4) コンパクトな都市構造検討調査は、どのような取組を行うのか伺いたい。
- (5) 超高齢社会において地域を支える人材として、退職した本市職員の長年地域と関わってきた経験が期待されているが、地域貢献ができるか伺いたい。
- (6) 未来のヨコハマ検討調査における未来とは何年頃を指しているのか伺いたい。
- (7) 職員が活発な政策議論を行うための仕組みづくりは、どのようなものを考えているのか伺いたい。
- (8) 活力ある人口減少・超高齢社会に挑戦する本市の意気込みについて伺いたい。
- (要望) 自助、共助、公助とありますが、本当に共助がしやすいまちづくりをしていただくことを要望します。

局 別 審 査

9 今 野 典 人 委 員 (民 主 会)

1 羽田空港へのアクセスについて

- (1) 神奈川口構想の主要テーマである連絡道路の進捗状況について伺いたい。
- (2) 羽田空港アクセスに関する首都高速道路の料金に対するこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 羽田空港アクセスに関する首都高速道路の料金に対する今後の取組について伺いたい。
- (4) 総合的な羽田空港アクセス強化に関する今後の取組について伺いたい。

2 共創フロント及び国際技術協力について

- (1) これまでの共創フロントの取組の中で、実現できなかったケースの主な理由について伺いたい。
- (2) 実現に至らなくても、優れた提案については継続してフォローすべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 市内企業から寄せられた優れた技術や提案を周知する仕組みについて、前向きに検討していただくことを要望します。
- (3) 「Y-PORT事業」による横浜のメリットと行政が関わることによるメリットについて伺いたい。
- (4) どのようにして国際技術協力による市内企業のビジネスチャンスを拡大していくのか伺いたい。
- (5) 「Y-PORT事業」の推進にあたり、事業の特性を踏まえてふさわしい人材の配置や育成に努めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
(要望) 「Y-PORT事業」を市内経済に定着させて取り組まれるよう要望します。

局 別 審 査

10 杉 山 典 子 委 員 (ネ ッ ト)

1 コンパクトシティについて

- (1) 本市が目指すコンパクトシティとは、どのようなものか伺いたい。
- (2) 市街化区域内の緑も含め、緑の保全を推進しつつ、市街地の拡散抑制をどのように図っていくのか伺いたい。
- (3) 駅を中心とした都市機能の集約をどのように図っていくのか伺いたい。
- (4) 地域まちづくり推進条例の理念との関係において、住宅地などにおける地域力の向上をどのように進めていくのか伺いたい。
- (5) 地域経済の活性化にどうかかわると考えるのか伺いたい。
- (6) コンパクトシティを実現へと結び付けていくための見通しについて伺いたい。

2 公共施設保全利活用について

- (1) 平成23年度の一般会計の保全費予算は、いくら計上されているか、毎年どのくらいかかるのか
- (2) 将来必要な保全費を毎年度積み立てる基金などの仕組みが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) これからは公共施設を新設するよりも、既存施設の有効活用や民間施設の利用を積極的に進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。